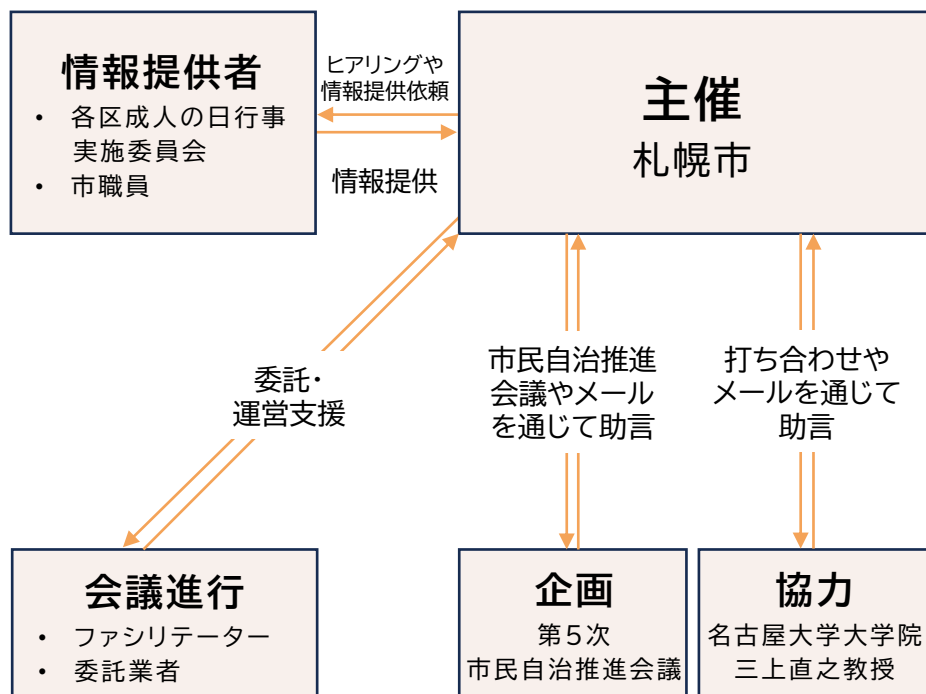


1. 未来の成人式を考える市民会議の開催結果(概要)について | 開催概要

- 第5次市民自治推進会議が企画した「未来の成人式を考える市民会議」を10月27日(日)、11月4日(月・祝)、札幌グランドホテル クリスタルホールで開催
- 同会議の目的は、①成人式のあり方の検討への結果の活用と②市民参加の仕組みづくり(サイレント・マジョリティの掘り起こしと参加者の意識の変化の検証)の検討への結果の活用
- 会議のテーマは「今後成人式はどのような姿を目指していくべきか」とし、3つの論点(「論点1 成人式の方針」、「論点2 実施主体、開催場所、内容」、「論点3 財源の確保」と各論点に関連する7つの問いを設定
- 無作為抽出で選ばれた市民が2日間で計82名参加し、事前送付された資料を読み、市職員や成人の日行事(成人式)の運営に携わる地域の方から成人式に関するさまざまな情報提供を受けたうえで、グループごとに議論し、アンケートに回答

【実施体制】



【10月27日 グループ討論の様子】

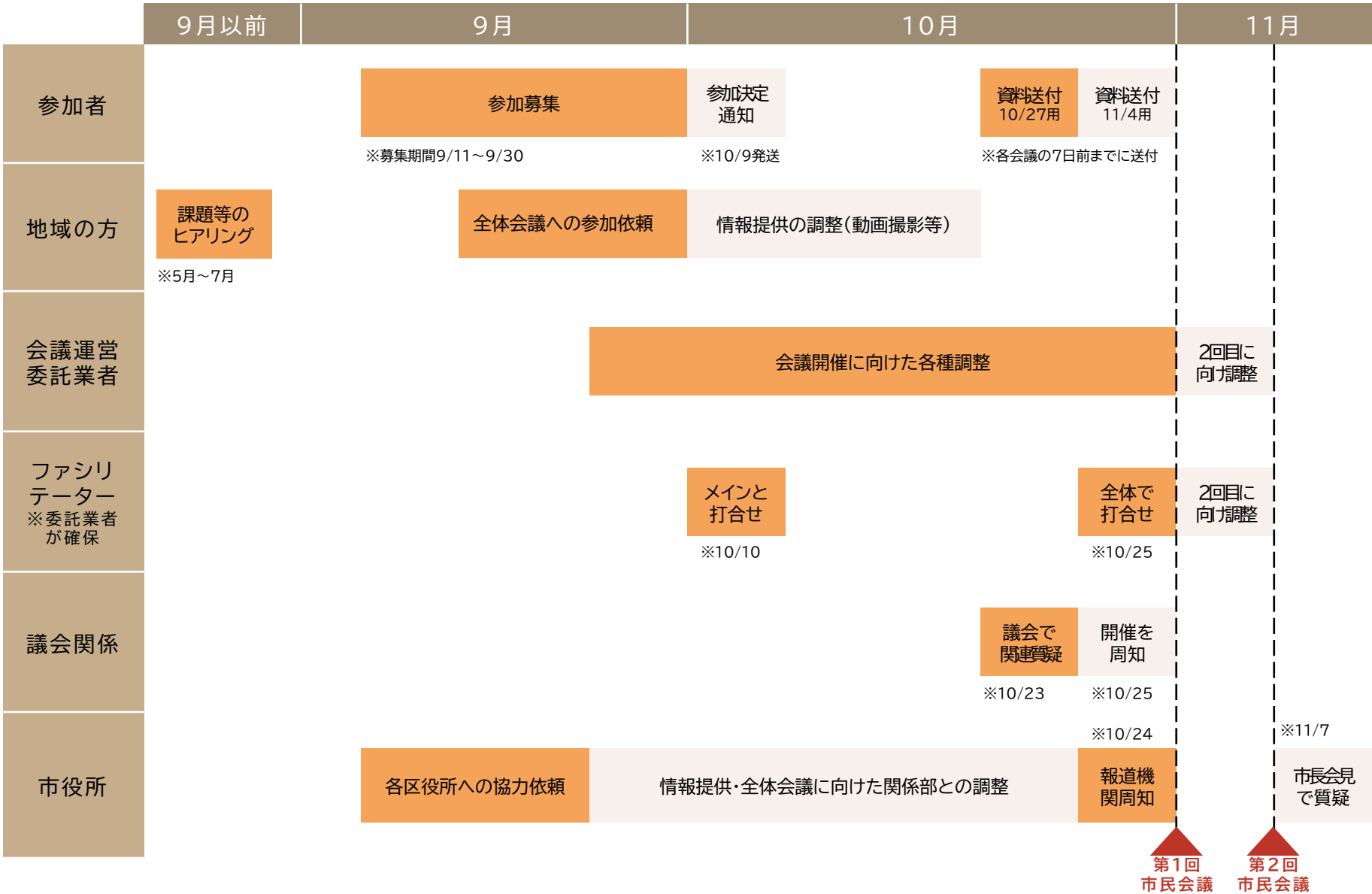


【11月24日 グループ討論の様子】



1. 未来の成人式を考える市民会議の開催結果(概要)について | 開催までのスケジュール

- 市民自治推進会議における企画の検討状況や決定内容を考慮しながら、下図のとおり各種調整を進めた



第1回 市民会議
第2回 市民会議

1. 未来の成人式を考える市民会議の開催結果(概要)について | 申込者について①

- 5～6月に実施した19歳向けアンケートの対象者3,000人に加え、新たに18歳以上79歳以下の市民3,000人を無作為抽出し、市民会議への参加案内、申込用紙、市民アンケート結果概要を郵送
- 募集期間は9月11日～9月30日までとし、紙かオンラインで申し込みを受け付けたところ、226名が参加を希望
- 申込者の特徴は、案内数に対して若い方からの申し込みが少ないこと※1、女性の割合が男性よりも高いことが挙げられる
- 職業別にみると、仕事が必要な方※2が全体の4割、通学をしている方※3が3割を占めた

※1 10代、20代の申込者86名中19歳向けアンケートの対象者が71名 ※2 会社員・公務員、パート・アルバイト、自営業 ※3 大学生、専門学校生、短大生、高校生

【申込者の性別・年代・居住区別の構成】

		男性 (人)	女性 (人)	計 (人)	申込者に 対する割合	市の人口に 対する割合
年代	10代 ※18～19歳	17	19	36	15.9%	8.0% ※18～19歳は1.7%
	20代	19	31	50	22.1%	10.2%
	30代	7	9	16	7.1%	11.2%
	40代	12	20	32	14.2%	14.0%
	50代	16	17	33	14.6%	14.9%
	60代	8	18	26	11.5%	12.6%
	70代	19	14	33	14.6%	13.1%
居住区	中央区	15	17	32	14.2%	12.5%
	北区	14	12	26	11.5%	14.5%
	東区	14	14	28	12.4%	13.3%
	白石区	5	22	27	11.9%	10.9%
	厚別区	10	12	22	9.7%	6.3%
	豊平区	11	16	27	11.9%	11.6%
	清田区	7	8	15	6.6%	5.6%
	南区	8	5	13	5.8%	6.8%
	西区	4	15	19	8.4%	11.2%
	手稲区	10	7	17	7.5%	7.2%
男女計		98	128	226		
申込者に対する割合		43.4%	56.6%			
市の人口に対する割合		46.8%	53.2%			

【申込者の職業】

	10代 (人)	20代 (人)	30代 (人)	40代 (人)	50代 (人)	60代 (人)	70代 (人)	計 (人)	申込者に 対する割合
大学生	21	39						60	26.5%
会社員・ 公務員	3	6	7	17	19	4	2	58	25.7%
無職	1		2	2	1	7	16	29	12.8%
パート・ アルバイト	1		3	4	5	5	6	24	10.6%
主婦、主夫			1	5	3	9	5	23	10.2%
専門(専修) 学校生	5	4						9	4.0%
自営業			2	1	3			6	2.7%
短大生	5							5	2.2%
高校生		1						1	0.4%
その他				2	1		2	5	2.2%
無回答			1	1	1	1	2	6	2.7%
計	36	50	16	32	33	26	33	226	

※市の人口データはR6.7.1時点

1. 未来の成人式を考える市民会議の開催結果(概要)について | 申込者について②

- 申込方法は紙とオンラインが約半数ずつであり、若い方はオンライン、高齢の方は紙を選択する傾向が見られた
- 申込理由は「市民会議に興味があるから」が約4割で最も多く、ワークショップへの参加経験は「経験がない」が約8割
- 地域活動への参加経験は、半数以上の方がいる(「頻繁に」、「定期的に」、「たまに」、「過去参加したことがある」と回答
- 地域への愛着は、8割以上の方がいる(「とても愛着がある」、「やや愛着がある」と答えた

【申込者の申込方法、申込理由、ワークショップへの参加経験】

	10代(人)	20代(人)	30代(人)	40代(人)	50代(人)	60代(人)	70代(人)	計(人)	割合
申込方法									
紙	11	15	6	15	16	20	29	112	49.6%
オンライン	25	35	10	17	17	6	4	114	50.4%
申込理由									
市民会議に興味がある	8	15	6	13	19	11	14	86	38.1%
謝礼がある	11	9	2	1	4	2	3	32	14.2%
成人式に興味がある	5	7	1	6	4	3	2	28	12.4%
市の行事に参加したい	3	3	3	4	1	2	6	22	9.7%
周囲(家族等)の勧め	1	7	3		3	3	2	19	8.4%
知らない人と意見交換	7	4		3		2	1	17	7.5%
その他	1	5	1	5	2	2	5	21	9.3%
無回答						1			0.4%
WSへの参加経験									
ない	34	44	12	24	29	17	28	188	83.2%
ある	2	6	4	8	4	8	4	36	15.9%
無回答						1	1	2	0.9%

【申込者の地域活動への参加経験、地域への愛着】

	10代(人)	20代(人)	30代(人)	40代(人)	50代(人)	60代(人)	70代(人)	計(人)	割合
地域活動									
参加したことがない	24	25	6	20	13	9	7	104	46.0%
過去参加したことがある	9	17	5	7	13	5	15	71	31.4%
たまに(年1~2回)	1	5	3	2	4	9	5	29	12.8%
頻繁に(月1回以上)	1	1	1	2	1	2	3	11	4.9%
定期的に(2~3月に1回)		2			2	1	3	8	3.5%
無回答	1		1	1				3	1.3%
地域への愛着									
とても愛着がある	12	21	8	13	19	11	16	100	44.2%
やや愛着がある	18	25	4	14	11	11	10	93	41.2%
どちらでもない	5	2	4	4	3	4	7	29	12.8%
愛着がない	1	2		1				4	1.8%

1. 未来の成人式を考える市民会議の開催結果(概要)について | 参加者について

- 申込者の参加希望日、年代、性別、居住区のほか、辞退率(※2割想定)などを考慮し、100名(各回50名)を決定
- 第1回は市の人口構成の縮図を作るミニ・パブリックス型、第2回は年代毎の人数を一定にするオリジナル型で実施
- 当日は、各回41名の計82名が参加。第1回の60代の欠席が多かったが、そのほかの日程は概ね想定通りに来場

【第1回参加者の性別・年代別の構成】

年代	男性(人)	女性(人)	計(人)	割合
10代	1	1	2	4.9%
20代	2	3	5	12.2%
30代	3	3	6	14.6%
40代	4	4	8	19.5%
50代	4	4	8	19.5%
60代	3	1	4	9.8%
70代	4	4	8	19.5%
計	21	20	41	

参加者に対する割合 51.2% 48.8%

【第2回参加者の性別・年代別の構成】

年代	男性(人)	女性(人)	計(人)	割合
10代	3	3	6	14.6%
20代	3	2	5	12.2%
30代	3	3	6	14.6%
40代	2	4	6	14.6%
50代	4	2	6	14.6%
60代	3	4	7	17.1%
70代	3	2	5	12.2%
計	21	20	41	

参加者に対する割合 51.2% 48.8%

【第1回参加者の居住区別の構成】

区	参加者(人)	割合
中央区	5	12.2%
北区	4	9.8%
東区	3	7.3%
白石区	5	12.2%
厚別区	3	7.3%
豊平区	5	12.2%
清田区	4	9.8%
南区	2	4.9%
西区	6	14.6%
手稲区	4	9.8%
計	41	

【第2回参加者の居住区別の構成】

区	参加者(人)	割合
中央区	5	12.2%
北区	3	7.3%
東区	2	4.9%
白石区	5	12.2%
厚別区	7	17.1%
豊平区	3	7.3%
清田区	4	9.8%
南区	5	12.2%
西区	2	4.9%
手稲区	5	12.2%
計	41	

【参加者の職業】

	第1回(人)	第2回(人)	計(人)	割合
会社員・公務員	14	12	26	31.7%
パート・アルバイト	9	4	13	15.9%
無職	4	7	11	13.4%
大学生	2	7	9	11.0%
主婦、主夫	5	3	8	9.8%
自営業	2	3	5	6.1%
専門(専修)学校生	2	2	4	4.9%
短大生		1	1	1.2%
高校生	1		1	1.2%
その他	1	2	3	3.7%
無回答	1		1	1.2%
計	41	41	82	

【参加者の成人式への参加経験等】

	第1回(人)	第2回(人)	計(人)	割合
成人式への参加				
市外で参加	15	12	27	32.9%
市内で参加	12	13	25	30.5%
不参加	10	7	17	20.7%
これから	4	9	13	15.9%
WSへの参加経験				
ない	32	31	63	76.8%
ある	8	9	17	20.7%
無回答	1	1	2	2.4%
地域活動				
参加したことがない	13	17	30	36.6%
過去参加したことがある	17	10	27	32.9%
たまに(年1~2回)	7	5	12	14.6%
頻繁に(月1回以上)	1	6	7	8.5%
定期的に(2~3月に1回)	2	2	4	4.9%
無回答	1	1	2	2.4%
地域への愛着				
とても愛着がある	24	22	46	56.1%
やや愛着がある	10	15	25	30.5%
どちらでもない	6	4	10	12.2%
愛着がない	1	1	2	2.4%

1. 未来の成人式を考える市民会議の開催結果(概要)について | 会議の流れ

- 会議はメインファシリテーターの進行のもと、テーブルファシリテーターが各グループの議論を支援するかたちで実施
- 第1回は年代の異なる7名程度が6グループに分かれて1日議論し、第2回は年代毎に6名程度ずつ7グループに分かれて第1部と第2部の議論を行った後、第3部でいろいろな年代の方を混ぜて議論
- 情報提供は、各論点に沿って、札幌市と各区成人の日行事実施委員会の構成員(地域の方)から、動画で成人式に関する基礎的な情報や現状、課題などについて説明
- 全体会議は、市職員と地域の方も参加し、テーブルファシリテーターがまとめたグループごとの質問に回答
- 参加者の意識の変容を調査するアンケート調査は、第1回は3回、第2回は4回実施(第2回は年代毎の議論の結果を調査するため、第2部グループ討論の後にも実施)

【第1回のプログラム】

9:30-10:00	調査①、オリエンテーション
10:00-10:15	自己紹介
10:15-11:00	情報提供、調査②
11:00-12:00	第1部 グループ討論
12:00-13:00	お昼休憩
13:00-14:00	第2部 グループ討論
14:00-15:00	全体会議
15:00-16:00	第3部 グループ討論
16:00-16:30	発表
16:30-17:00	調査③、振り返り、結果の発表
会議終了後	市民会議の運営に関するアンケート

【第2回のプログラム】

9:30-9:50	調査①、オリエンテーション
9:50-10:10	自己紹介
10:15-11:05	情報提供
11:05-12:00	調査②、第1部 グループ討論
12:00-13:00	お昼休憩
13:00-13:30	第2部 グループ討論
13:30-13:50	発表(2部までの意見)、調査③
13:50-14:05	休憩
14:05-15:00	全体会議
15:00-16:10	第3部 グループ討論(年代混成)
16:10-16:30	発表
16:30-17:00	調査④、振り返り、結果の発表
会議終了後	市民会議の運営に関するアンケート

【全体会議で出た質問】

- (第1回)
- ボランティアの募集方法
 - 各区の出席率の違い
 - 法律上18歳で成人することと、成人式の対象者が20歳であることに関する考え
 - 補助金を増やす余地
 - 予算と支出の内訳、各区の工夫
- (第2回)
- 白石の会場がカナモトホールである理由
 - 各区の出席率の違い、案内が届く時期
 - 市としての成人式の意義の捉え方
 - ボランティアの募集方法と業務、予算の内訳
 - ボランティアに若い人が参入する予定
 - 青少年育成委員の活動内容
 - 各区の会場決定の考え方
 - 小中学校区で開催する場合の予算
 - 協賛金の集め方
 - 札幌ドームの費用
 - 法律上18歳で成人することと、成人式の対象者が20歳であることに関する考え

【情報共有資料を事前に読んだか】

- 参加者のうち7割は、事前に資料の内容を全部読んだ上で参加していた

Q. 本日の会議に参加するまでに、郵送で受け取った情報共有資料をご覧になりましたか。あてはまるものに○をつけてください。(数値は%)

	第1回	第2回
ア.読んでいない	0.0	0.0
イ.半分以下しか読んでいない、目を通した程度	7.3	7.3
ウ.半分程度は読んだ	4.9	12.2
エ.半分以上は読んだ	7.3	7.3
オ.全部読んだ	73.2	73.2
カ.全部読んだうえ、さらに興味を持った項目などについて調べた	0.0	0.0
無回答	7.3	0.0

【情報提供について】

- 資料や当日の情報提供の内容は理解できたと思う方が多かったが、バランスがよかったかは「どちらとも言えない」を選択する方が多かった

Q. 情報提供に関する次の項目について、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。

1全くそう思わない、2そうは思わない、3どちらともいえない、4そう思う、5非常にそう思う、0わからない(平均値以外の数値は%)

	第1回								第2回							
	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値		
①事前送付資料により、会議の目的や内容を理解できた	2.4	2.4	17.1	48.8	29.3	0.0	4.0	0.0	0.0	7.3	53.7	39.0	0.0	4.3		
②事前送付資料の内容はわかりやすかった	0.0	4.9	22.0	51.2	22.0	0.0	3.9	0.0	2.4	22.0	46.3	29.3	0.0	4.0		
③情報提供では異なる視点から公平にバランスよく取り上げられていた	4.9	7.3	39.0	31.7	14.6	2.4	3.5	0.0	2.4	36.6	31.7	26.8	2.4	3.9		
④論点1の札幌市の情報提供の話を理解できた	0.0	0.0	19.5	61.0	19.5	0.0	4.0	2.4	0.0	2.4	61.0	34.1	0.0	4.2		
⑤論点2の札幌市の情報提供の話を理解できた	0.0	4.9	19.5	56.1	19.5	0.0	3.9	0.0	2.4	7.3	56.1	34.1	0.0	4.2		
⑥論点3の札幌市の情報提供の話を理解できた	0.0	4.9	19.5	56.1	19.5	0.0	3.9	0.0	7.3	0.0	61.0	31.7	0.0	4.2		
⑦地域の関係者の情報提供の話を理解できた	2.4	4.9	12.2	48.8	29.3	2.4	4.0	2.4	2.4	7.3	48.8	39.0	0.0	4.2		

【自身の考えをまとめるのに役立ったことについて】

・「グループ討論」が非常に役に立ったと回答した方が最も多く、「市民会議全体」と答える方も多かった

Q. 今回の会議において、あなた自身の考えをまとめるにあたって、次の項目は役に立ちましたか。あなたの考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。

1全く役に立たない、2役に立たない、3どちらともいえない、4役に立った、5非常に役に立った、0わからない・意見がない（平均値以外の数値は%）

	第1回							第2回						
	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値
①市民会議全体	0.0	2.4	14.6	53.7	29.3	0.0	4.1	0.0	0.0	7.3	34.1	58.5	0.0	4.5
②情報提供者からの説明	4.9	9.8	9.8	51.2	24.4	0.0	3.8	0.0	2.4	12.2	46.3	39.0	0.0	4.2
③グループ討論	2.4	0.0	12.2	39.0	46.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	34.1	65.9	0.0	4.7
④グループ討論以外でのほかの参加者との意見交換	0.0	0.0	24.4	46.3	29.3	0.0	4.0	0.0	2.4	12.2	41.5	41.5	2.4	4.3
⑤全体会議での質疑応答	7.3	14.6	31.7	24.4	22.0	0.0	3.4	0.0	0.0	12.2	56.1	31.7	0.0	4.2
⑥情報共有資料からの情報	0.0	4.9	24.4	48.8	22.0	0.0	3.9	0.0	0.0	9.8	48.8	41.5	0.0	4.3

【グループ討論について】

・ テーブルファシリテーターが「全員が討論に参加できる機会を適切に作っていた」、「対立する意見を平等に扱っていた」と思う方が多かった

Q. グループ討論に関する次の項目について、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。

1全くそう思わない、2そうは思わない、3どちらともいえない、4そう思う、5非常にそう思う、0わからない・意見がない（平均値以外の数値は%）

※進行役とあるのは「テーブルファシリテーター」を指す	第1回							第2回						
	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値
①進行役は、発言しやすい雰囲気を作っていた	0.0	2.4	2.4	29.3	65.9	0.0	4.6	0.0	0.0	4.9	36.6	58.5	0.0	4.5
②進行役は、全員が討論に参加できる機会を適切に作っていた	0.0	4.9	2.4	22.0	70.7	0.0	4.6	0.0	0.0	2.4	39.0	58.5	0.0	4.6
③進行役は、賛成・反対(対立する意見)の両方を平等に扱っていた	2.4	0.0	2.4	29.3	65.9	0.0	4.6	0.0	2.4	0.0	31.7	65.9	0.0	4.6
④進行役は、適切に議論を整理していた	2.4	0.0	4.9	36.6	56.1	0.0	4.4	0.0	2.4	7.3	31.7	58.5	0.0	4.5
⑤私のグループの参加者は、討論にまよ等しく参加した	0.0	14.6	4.9	29.3	51.2	0.0	4.2	0.0	0.0	4.9	41.5	53.7	0.0	4.5
⑥グループ討論では、論点の重要な側面を話し合うことができた	0.0	0.0	17.1	53.7	26.8	2.4	4.1	2.4	0.0	4.9	46.3	43.9	2.4	4.3
⑦グループ討論で他の参加者が話した事をほぼすべて理解できた	0.0	4.9	17.1	41.5	34.1	2.4	4.1	0.0	2.4	9.8	34.1	51.2	2.4	4.4
⑧グループ討論で自分の意見を述べる十分な機会があった	0.0	2.4	2.4	56.1	36.6	2.4	4.3	0.0	2.4	7.3	29.3	58.5	2.4	4.5
⑨他の参加者は、意見が違っても、私の発言を尊重してくれた	0.0	2.4	2.4	53.7	39.0	2.4	4.3	0.0	0.0	4.9	36.6	56.1	2.4	4.5
⑩議論を独占し他の人が発言できないようにする人はいなかった	0.0	4.9	9.8	41.5	41.5	2.4	4.2	0.0	0.0	9.8	29.3	56.1	4.9	4.5
⑪私は、自分とは違う立場の人から多くを学んだ	0.0	2.4	9.8	41.5	43.9	2.4	4.3	0.0	2.4	0.0	29.3	65.9	2.4	4.6

【オリエンテーション、全体会議、発表、振り返りについて】

・ 第1回は「4 そう思う」を付けた方が多く、第2回は他のグループの発表等で理解が深まった、学びがあったと強く思う方が多かった

Q. オリエンテーション、全体会議、発表、振り返りに関する次の項目について、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。
1全くそう思わない、2そうは思わない、3どちらともいえない、4そう思う、5非常にそう思う、0わからない・意見がない（平均値以外の数値は%）

	第1回							第2回						
	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値
①オリエンテーションにおいて、会議の目的を理解することができた	0.0	4.9	17.1	48.8	26.8	2.4	4.0	0.0	0.0	4.9	58.5	34.1	2.4	4.3
②全体進行役の進行はスムーズだった	0.0	12.2	12.2	48.8	24.4	2.4	3.9	0.0	2.4	22.0	39.0	34.1	2.4	4.1
③全体会議での全体進行役が発言しやすい雰囲気を作っていた	0.0	0.0	17.1	48.8	29.3	4.9	4.1	0.0	7.3	7.3	43.9	39.0	2.4	4.2
④全体会議での質疑応答のやり取りは、適切なものであった	2.4	12.2	17.1	41.5	24.4	2.4	3.8	0.0	0.0	19.5	41.5	36.6	2.4	4.2
⑤全体会議での他のグループの質疑応答などで理解が深まった	2.4	12.2	14.6	46.3	22.0	2.4	3.8	0.0	2.4	12.2	34.1	48.8	2.4	4.3
⑥各グループの発表の内容を理解することができた	0.0	4.9	9.8	63.4	19.5	2.4	4.0	0.0	2.4	7.3	39.0	48.8	2.4	4.4
⑦他のグループの発表内容を聴くことで、気づきや学びがあった	0.0	7.3	4.9	46.3	39.0	2.4	4.2	0.0	2.4	0.0	46.3	48.8	2.4	4.5
⑧振り返りの時間があって、今日の体験を整理できた	0.0	12.2	14.6	43.9	26.8	2.4	3.9	0.0	4.9	17.1	26.8	46.3	4.9	4.2
⑨投票結果について、気づきや学びがあった	0.0	12.2	14.6	46.3	24.4	2.4	3.9	0.0	0.0	14.6	41.5	41.5	2.4	4.3

【今回の会議に関する意見や感想】

・ 両日とも、「成人式についてたくさんの気づきがあった」、「自分の言いたいことを発言できた」と思った方が多かった

Q. 今回の会議に関する次のような意見や感想に対して、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。
1全くそう思わない、2そうは思わない、3どちらともいえない、4そう思う、5非常にそう思う、0わからない・意見がない（平均値以外の数値は%）

	第1回							第2回						
	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値	1	2	3	4	5	意見無し 無回答	平均値
①会議に参加して成人式についてたくさんの気づきがあった	0.0	0.0	9.8	39.0	46.3	4.9	4.4	0.0	0.0	2.4	34.1	63.4	0.0	4.6
②休憩時間は十分に確保されていた	0.0	4.9	4.9	48.8	36.6	4.9	4.2	2.4	7.3	9.8	39.0	41.5	0.0	4.1
③会議の間、ほとんどの時間で集中力を維持することができた	0.0	17.1	2.4	43.9	31.7	4.9	3.9	0.0	7.3	17.1	39.0	36.6	0.0	4.0
④自分の言いたいことを発言することができた	0.0	2.4	7.3	53.7	31.7	4.9	4.2	0.0	2.4	0.0	39.0	58.5	0.0	4.5
⑤市民会議が市民意見を市政に反映するための効果的な方法だと思う	7.3	4.9	17.1	39.0	26.8	4.9	3.8	0.0	0.0	7.3	41.5	51.2	0.0	4.4

【会議全般について】

Q. 次の項目について、あなたの考えに最も近いものを1つ選び○をつけてください。(平均値以外の数値は%)

	第1回							第2回						
	1 非常に 少ない	2	3 適切	4	5 非常に 多い	6 謝金は 不要	平均値 ※6除く	1 非常に 少ない	2	3 適切	4	5 非常に 多い	6 謝金は 不要	平均値 ※6除く
①謝金(10,000円)の金額についてのお考えを教えてください	2.4	7.3	61.0	14.6	9.8	4.9	3.2	0.0	7.3	82.9	2.4	0.0	7.3	2.9
②今回の会議の時間の長さについてのお考えを教えてください	0.0	2.4	36.6	41.5	14.6	4.9	3.7	0.0	9.8	43.9	43.9	2.4	0.0	3.4
③あなたは普段市政に対して意見を言うことはありますか	56.1	29.3	4.9	4.9	0.0	4.9	1.6	53.7	17.1	19.5	9.8	0.0	0.0	1.9
④今回の会議をきっかけに、今後札幌が抱える課題の解決に向けて自分も意見を言ってみたいと思いますか	4.9	4.9	36.6	34.1	14.6	4.9	3.5	0.0	0.0	26.8	39.0	34.1	0.0	4.1
⑤今回の会議の開催前と開催後で成人式に関するご自身の考えに変化はありましたか	2.4	7.3	7.3	53.7	24.4	4.9	3.9	2.4	4.9	9.8	41.5	41.5	0.0	4.1
⑦今回の会議の満足度を教えてください	2.4	2.4	4.9	53.7	31.7	4.9	4.2	0.0	2.4	7.3	22.0	63.4	4.9	4.5
⑧今回のような会議に参加する機会があれば、また参加したいと思いますか	2.4	2.4	14.6	48.8	26.8	4.9	4.0	0.0	2.4	2.4	34.1	56.1	4.9	4.5

	第1回	第2回
ア. 会議全体	21.9	23.5
イ. 情報提供の説明	12.5	8.8
ウ. グループ討論	37.5	52.9
エ. 討論外での意見交換	9.4	5.9
オ. 全体会議での質疑応答	0.0	0.0
カ. 情報共有資料からの情報	9.4	0.0
キ. 特にない	0.0	0.0
無回答	9.4	8.8

【P10の「会議全般について」の回答の傾向】

- 両日とも、「謝金(1万円)の額」は「適切」(5段階評価で3)と回答した方が最も多い(第1回は61.0%、第2回は82.9%)
- 両日とも、「普段市政に対して全く意見を言ったことがない」と回答した方が最も多い(第1回は56.1%、第2回は53.7%)
- 第2回は、「今回の会議をきっかけに、今後札幌が抱える課題の解決に向けて自分も意見を言ってみよう」と思った方(5段階評価で4~5)が73.1%(第1回は48.7%)
- 両日とも、「今回の会議の開催前と開催後で成人式に関するご自身の考えに変化があった」と思った方(5段階評価で4~5)が8割程度(第1回は78.1%、第2回は83.0%)
- 両日とも、「今回の会議に満足している」と思った方(5段階評価で4~5)が85.4%
- 「今回のような会議があればまた参加したい」と思った方(5段階評価で4~5)は第1回は75.6%、第2回は90.2%

【参加者の自由意見から一部抜粋】

- もっと同年代の意見も聞きたかった。(10代女性・第1回)
- この市民会議の意見が札幌市に届くのか不安に思う。よりよい方向に進んでほしいと思いました。(20代女性・第1回)
- この様な機会がなければ市民として考えることも意見することもなかったので良い機会になりました。(30代男性・第1回)
- 何かよくわからない中で終わってしまいました。(60代男性・第1回)
- 自分が来年参加する式についてどのような人が関わっていてどのように企画されているのかということがよくわかった。他の年代の方との意見交換がためになった。(10代女性・第2回)
- 様々な年代の意見を聞くことができ楽しかった。初回の討論が年代別だったので話しやすかった。(20代女性・第2回)

【ファシリテーターへのアンケート結果から一部抜粋(特に1日目と2日目を比較する意見を抽出)】

- 2日目の1部と2部は同年代同士でディスカッションを行い、3部は各年代混合でディスカッションでしたが各年代の方々が相互に刺激し合っていたように思います。
- 年代ごとでまとまった方が、スムーズに意見交換ができていたように思います。
- 2つのグループを体験でき、意見交換することは意味があったと考えるが、長時間すぎて、疲労度も高かったような印象を受けた。また、自分の同じ意見を繰り返し言うことにもなり、2回目のグループ移動の効果はあまり感じられなかった。後半は各グループで出た意見をもとに、それぞれのグループの意見を出し合うほうがまとまりがついたのではないかと。
- せっかく2日目が年代別としていたので、最後までグループ分けせずに進めても良かったのではないのでしょうか？

1. 未来の成人式を考える市民会議の開催結果(概要)について | 主な調査結果①

【論点1 成人式の必要性】

- 「継続した方がよい」という意見が増加

Q. 今後の札幌市の成人式について、2つの意見のうち、どちらの意見に近いですか。ちょうど中間を「4」としたとき、あなたの意見に最も近いものを1つご選択ください。1廃止した方がよい～7継続した方がよい（数値は平均値）

第1回

会議前	情報提供後	討論後
5.8	5.9(↑)	6.1(↑)

第2回

会議前	情報提供後	年代別討論後	混成討論後
6.0	6.0(→)	6.2(↑)	6.3(↑)

【論点1 重視すべき点】

- 「出席者の満足度」の重要度が最も高い。「コストの節約」は低い水準ながらも増加

Q. 成人式を実施する上でどのような視点や考え方を特に重視するのが良いと思いますか。次の項目について、あなたが考える重要度を7段階の中から1つご選択ください。1重要度低～4普通～7重要度高（数値は平均値）

第1回	会議前	情報提供後	討論後	会議前後の差
出席者の満足度	5.4	5.9(↑)	6.1(↑)	+0.7
出席者の懇親の機会	5.0	5.7(↑)	5.9(↑)	+0.9
参加しやすい開催時期	5.3	5.5(↑)	5.7(↑)	+0.4
会場へのアクセスのしやすさ	5.2	5.8(↑)	5.6(↓)	+0.4
地域社会から祝われる場の創出	5.0	5.3(↑)	5.0(↓)	±0
コストの節約	4.2	5.0(↑)	4.7(↓)	+0.5
主催者の負担感	4.4	5.0(↑)	4.5(↓)	+0.1
出席率	4.4	4.8(↑)	4.3(↓)	-0.1
伝統文化に触れる機会	3.8	3.7(↓)	3.8(↑)	±0
厳粛な式にすること	3.4	3.4(→)	3.0(↓)	-0.4

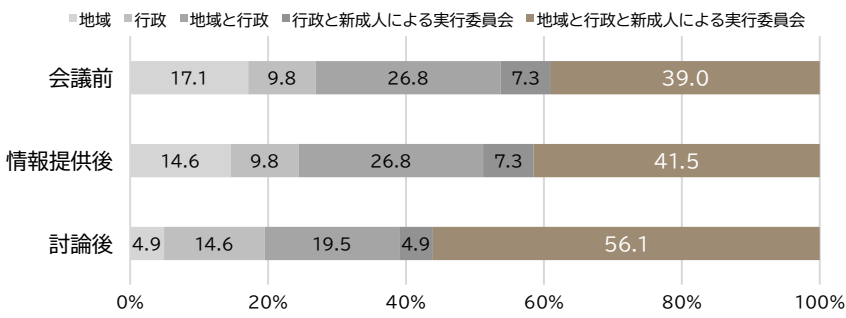
第2回	会議前	情報提供後	年代別討論後	混成討論後	会議前後の差
出席者の満足度	6.2	6.2(→)	6.4(↑)	6.4(→)	+0.2
会場へのアクセスのしやすさ	5.8	6.0(↑)	5.8(↓)	6.0(↑)	+0.2
出席者の懇親の機会	5.3	5.6(↑)	5.8(↑)	5.8(→)	+0.5
参加しやすい開催時期	5.9	5.6(↓)	5.6(→)	5.7(↑)	-0.2
出席率	5.0	5.7(↑)	5.9(↑)	5.6(↓)	+0.6
地域社会から祝われる場の創出	4.7	4.8(↑)	5.0(↑)	4.9(↓)	+0.2
コストの節約	4.3	4.6(↑)	5.0(↑)	4.8(↓)	+0.5
主催者の負担感	4.6	4.7(↑)	4.4(↓)	4.6(↑)	±0
伝統文化に触れる機会	3.7	3.6(↓)	3.5(↓)	3.3(↓)	-0.4
厳粛な式にすること	3.3	3.3(→)	3.6(↑)	3.3(↓)	±0

【論点2 実施主体】

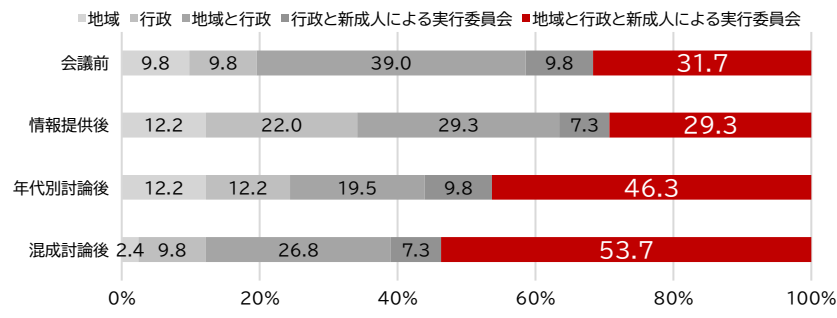
・「地域と行政と新成人による実行委員会」という意見が大幅に増加し、「地域」「地域と行政」は減少

Q. 成人式の運営について誰が主体的に担っていくのがよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つご選択ください。

第1回



第2回

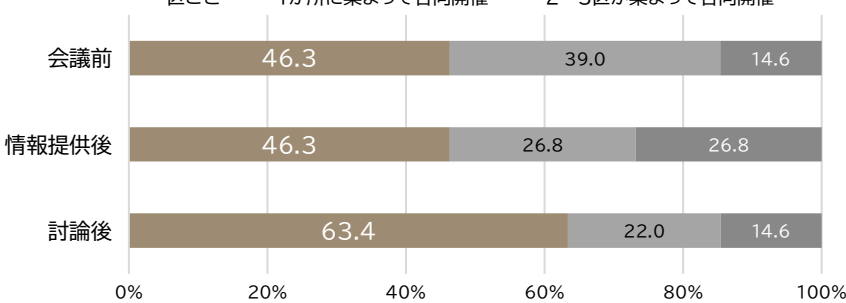


【論点2 開催場所】

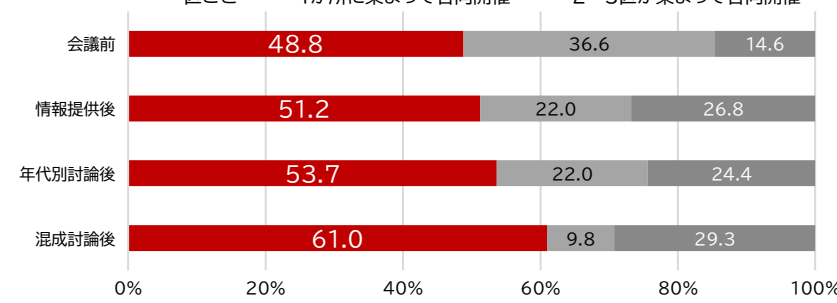
・「区ごと」という意見が大幅に増加し、「1か所に集まって合同開催」は減少

Q. 成人式はどのような場所で開催されるのがよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つご選択ください。

第1回



第2回



1. 未来の成人式を考える市民会議の開催結果(概要)について | 主な調査結果③

【論点2 内容】

・「参加者同士が会話を楽しめる場の設置」を重視する意見が最も多い。「元担任の先生からのお祝いのメッセージ」が大幅に増加

Q. 成人式について、どのような内容を特に重視するのがよいと思いますか。次の成人式で実施されている内容について、あなたが考える重要度を7段階の中から1つご選択ください。1重要度低～4普通～7重要度高（数値は平均値）

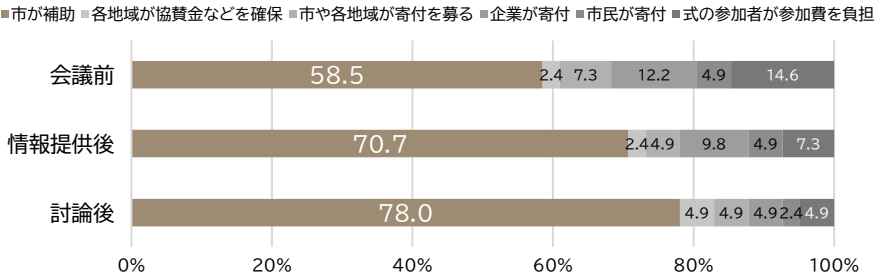
第1回	会議前	情報提供後	討論後	会議前後の差	第2回	会議前	情報提供後	年代別討論後	混成討論後	会議前後の差
参加者同士が会話を楽しめる場の設置	5.8	5.5(↓)	6.0(↑)	+0.2	参加者同士が会話を楽しめる場の設置	5.8	6.0(↑)	6.1(↑)	6.0(↓)	+0.2
記念撮影コーナー	4.4	4.7(↑)	5.0(↑)	+0.6	記念撮影コーナー	5.0	5.2(↑)	5.2(→)	5.3(↑)	+0.3
元担任の先生からのお祝いのメッセージ	3.9	4.6(↑)	4.9(↑)	+1.0	元担任の先生からのお祝いのメッセージ	4.3	5.0(↑)	5.0(→)	5.0(→)	+0.7
コンサートなどの催し	4.4	4.1(↓)	4.6(↑)	+0.2	コンサートなどの催し	5.0	4.5(↓)	4.4(↓)	4.6(↑)	-0.4
記念品や抽選であたるプレゼント	4.5	3.8(↓)	4.3(↑)	-0.2	記念品や抽選であたるプレゼント	4.7	3.8(↓)	4.3(↑)	4.2(↓)	-0.5
来賓からの祝辞	2.9	2.8(↓)	2.2(↓)	-0.7	来賓からの祝辞	3.0	2.9(↓)	3.0(→)	3.0(→)	±0.0

【論点3 財源】

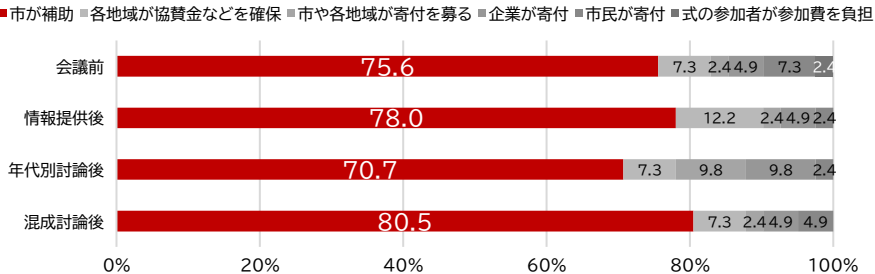
・「市が補助する」を重視する意見が最も多く、会議を通じて増加

Q. 成人式を実施するための財源を確保していくために、誰の、どのような取組が特に重要だと思いますか。重要だと思う順に優先順位を1～6でご選択ください。(優先順位1位の結果のみ掲載)

第1回(優先順位1位)



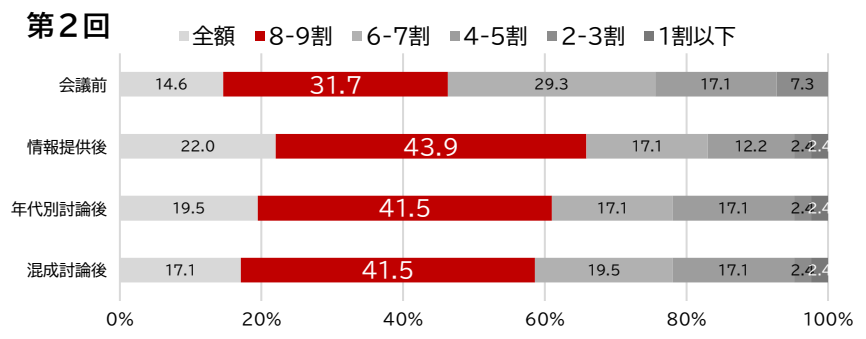
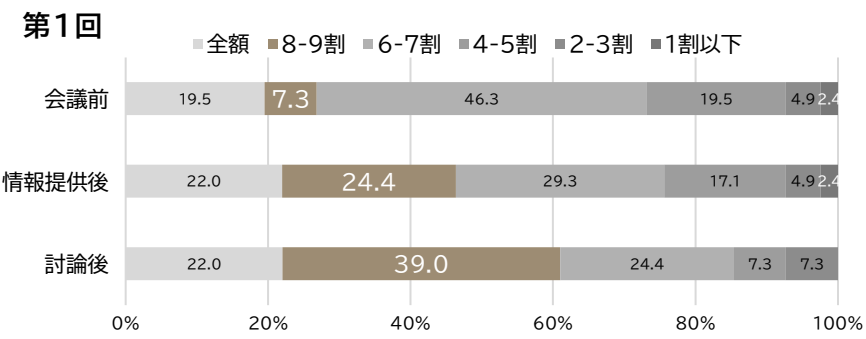
第2回(優先順位1位)



【論点3 補助金】

・「8～9割」という意見が増加し、「6～7割」という意見は減少

Q. 地域に対する市からの補助金の額は運営費全体のどの程度であるとよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つご選択ください。



【あなたが考える理想の成人式(自由記載)一部抜粋】※各回の最後の調査に自由記載欄を用意

- ・今のままで良い。(第1回)
- ・大がかりなことはいらない。自分の晴れ姿を親に見せて感謝を伝える、友人と再会する、地元に戻るきっかけとなる一つのイベントであり、式の内容自体にこだわりはない。(第1回)
- ・会っていない友人とたくさん会えるように広い場所の提供と、堅苦しくなくて今後生きる分かりやすい話をしてもらえばいい。(第1回)
- ・成人式にこだわる必要はないのでは？(第1回)
- ・行政が準備するのは最低限の必要十分なプログラムでよく、特別な催しやイベントごとは18-22歳くらいの当事者のアイデアをベースに協賛や寄付を組み合わせることで実現を目指す方式がいいと思う。(第2回)
- ・温かみのある思い出に残るような式。(第2回)
- ・未来の自分を考えるきっかけになったり自分が社会にどう貢献できるか考える機会や、従来通り友達と会える機会としては素晴らしい機会になると思うのでその辺りは継続してほしい。(第2回)

市民会議の運営に関するまとめ

○サイレント・マジョリティの市政参加を促すことにつながった

- ・「普段市政に対して全く意見を言ったことがない」方が半数以上参加し、会議後に「同じような会議にまた参加したい」と感じた方が多数いたことに加え、第2回では「会議をきっかけに今後市政課題の解決のために意見を言ってみたい」と7割の方が回答したことから、サイレント・マジョリティの掘り起こしにつながったと考えられる。

○会議への参加を通じて参加者の意見が変容したことが確認された

- ・アンケート調査の結果から、情報提供やグループ討論を通じて、様々な説明や自分と異なる意見に耳を傾けることで、個人の意見が変容したことが確認された。また、一般市民が、さまざまな情報提供をもとに熟慮し、考えを変化させる中で最終的に選択した結果として、実際の施策にも生かすことのできる貴重な意見を収集できた。

各論点に関するまとめと市の現状の考え

○(論点1 方針) 今後も継続し、いかに参加しやすく、満足してもらえる式にするかが重要

- ・成人式は必要であるという意見が多く、重視すべき点としては、出席者の満足度、出席者の懇親の機会、会場へのアクセスのしやすさ、出席しやすい開催時期という選択肢が上位を占めた。このことから、いかに参加しやすく、満足してもらえる式にするかが重要。

○(論点2 主体等) 新成人に企画などに参画してもらい、意見を取り入れる仕組みの構築が必要

- ・実施主体、開催場所、内容に関する各回答を統合すると、地域と行政と新成人による実行委員会が主体となり、区ごとに開催され、参加者同士が会話を楽しみ、記念撮影をすることができるような式がよいという結果となった。論点1の結果にも関連するが、参加者目線で企画などに参画してもらい、意見を取り入れる仕組みの構築が必要と考えられる。

○(論点3 財源) 市が寄付金の活用なども視野に入れながら、財源の確保に向けた手法を検討

- ・財源の確保については、市が補助し、割合を現状より高めるのがよいとする意見が多かった。市として、現在試行実施しているクラウドファンディングなど、寄付金の活用なども視野に入れつつ財源の確保に向けた手法を検討していく。

2. 第2回未来の成人式を考えるアンケートの実施について | 概要

- 5～6月に行った成人式に関する1回目アンケートの追加調査として、2回目の調査を実施
- 1回目アンケートの設問において、成人式のあり方について「札幌市と市民が議論した結果」及び「アンケート結果」の両方を知りたいと回答した方が、全体の57.9%(N=557)※アンケートの回答率は18.6%
- これまでの検討のプロセスや、市民アンケートと市民会議の結果をご覧いただいたうえで、再度アンケートへの回答を依頼し、その結果も含めて成人式のあり方の検討や市民参加の仕組みづくりの検討にも活用する

1. 目的

- 成人式のあり方の検討に活用
 - 市民参加の仕組みづくりの検討に活用
- サイレント・マジョリティの掘り起こし(なぜアンケートに回答しようと思ったか、1回目アンケートに回答しなかった方はなぜ今回は回答しようと思ったかの要因を確認する)
 - 市民会議結果の周知と効果の検証(「市民会議結果」の情報の有無による回答内容の差を確認する)

2. 対象

5～6月に実施した1回目アンケートの19歳の調査対象者3,000人
※令和7年1月開催の成人式の対象者

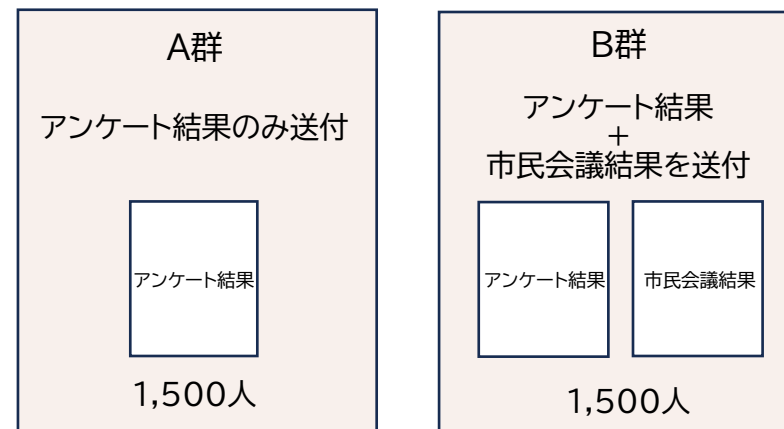
3. 実施期間

12月下旬～1月上旬

※回答期限を成人式(令和7年1月12日)の前までに設定

4. 調査方法

- 下記のとおり、A群とB群に分けて調査票を郵送し、結果を踏まえた上で、調査票(紙)またはWEBフォームにより回答してもらう。
- 1回目アンケート調査の質問内容をベースとし、「1回目のアンケートに回答していない方が、なぜ今回のアンケートに回答しようと思ったか」の設問を追加し、1回目からの意識の変化を確認。
- 「回答するにあたり、市民会議結果またはアンケート結果が参考になったか」の設問を追加し、結果を周知することの効果を確認する。



3.(仮称)情報共有と市民参加の推進のためのガイドラインについて | 構成の案(たたき台)

I.ガイドラインについて

○背景、目的、位置づけ

札幌市自治基本条例に基づき、市民参加の機会を確保するとともに、必要な情報共有を行うことにより、社会経済情勢の大きな変化の中において、市民とともに考え、話し合い、暮らしやすいまちを実現していくための指針であることを記載。

II.情報共有の推進

○情報共有の推進にあたって

情報共有の必要性、提供時期と内容、情報提供のポイントなどを記載。

○具体的な情報提供方法など

情報提供手法の例と特徴、留意点(個人情報保護の観点含む)などを記載。

III.市民参加の推進

○市民参加の推進にあたって

市民参加の必要性、実施時期、出された意見への対応方法、市民参加の取組状況の公表などを記載。

○政策の立案、実施、評価等の各段階における市民参加

市民参加の実施について、具体的なルール(対象事業と手法の選定方法、実施のタイミング等)やフロー、留意点などを記載。

IV.市民と行政の役割

○市民の役割

まちづくりに参加していただくために、具体的な意見の提出方法や参加の機会の情報収集の方法、市民モニター制度(仮称・市民サポーターズ)への登録などを記載。

○行政の役割

情報共有と市民参加の推進(上記II・III)、市民同士がまちづくりについて議論し考えを深めた上で意見を出すことができる環境づくり(札幌版ミニ・パブリックスの実践と研究、デジタルプラットフォームの活用、市政課題を題材に市民がファシリテーション技術を学べるワークショップの企画など)に努めることなどを記載。

V.評価

○評価、見直し

情報共有と市民参加の推進のための指標に基づく達成度の評価(市民参加の取組状況に関する客観的な指標を新たに設定することなどを検討)、ガイドラインの定期的な見直し・改善の時期、市民や職員からのフィードバックの収集などを記載。